

2024年度「部門別内容」及び「昨年度受講者の評価」

部門	背景と狙い	内容
【生産】	日々、工場品質向上のため取組まれているかと思ます。他社はどう取組まれているのか、自社だけの問題なのか、考えたことはないでしょうか。同じ品質問題に悩んでいるかもしれません。工場見学では、現地現物で見て聞いて学びまた講習会では、他社の生産関係者との交流を中心に工程分析手法、品質取組みについてグループ討議、意見交換することで新たな気付き、ヒントが見つかります。是非、参加して今後の品質活動に役立て頂けたら幸いです。	<p>【工場見学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の工場作業、品質管理、品質の取組みについて直接関係者にお聞きできる貴重な工場見学です。 <p>【事例研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他社での工程分析の手法、取組みを学んで頂きます。 ・各社の品質改善をグループで共有、討議し優秀事例を発表 ・品質活動で聞いてみたいこと、困りごとの共有、意見交換から対策のヒントを得て自社の品質活動に生かす
【邸別設計】	<p>外構計画は住宅設計において重要な要素です。美観や機能性を高めるだけでなく、防犯やプライバシー保護、住環境の快適さを向上させます。適切な外構計画は、住まいの価値を高め、顧客満足度を向上させるために欠かせません。</p> <p>そこで、今年度の邸別設計部門のテーマは、『外構設計力で顧客満足向上を目指すためには』とし、ファサードを含む外構計画について、感覚的ではなく、論理的、具体的に話し合い、学ぶことができる機会といたします。</p> <p>また、同業他社の設計者と交流、情報共有を通じ、設計のプロとしてスキル向上を図る場といたします。</p>	<p>【事前課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サンプル事例(写真)または、自社の建物・外構事例(写真・図面)から良いと思う事例、良くないと思う事例をそれぞれ選び、その要素、ポイントを言語化し所定のシートにまとめる。 ②各社外構、植栽計画のカタログ等を持参(任意) <p>【講習会内容】</p> <p>事前課題をグループワークで共有、要点等をまとめ発表 また、講師側からもテーマに関する講義を行います。</p> <p>【展示場見学会】</p> <p>サンプル事例(写真)または、自社の建物・外構事例</p>
【施工】	<p>今年度のテーマでもある『品質と信頼』この2つは相互に影響しあい、密接に関係するものと考えます。</p> <p>多様化する施工部門での課題や社会情勢への対応等が求められている中で、今一度、品質管理の原点に立ち返り、お客様が安心する『品質』と『信頼』が得られるようなプロセスを本講習会やグループディスカッションでの意見交換等を通じて、皆様と一緒に考えていきたいと思います。</p>	<p>◎施工部門テーマ</p> <p>『お客様が安心する品質と信頼を得られるプロセスとは』本講義やグループディスカッション、ケーススタディを通じて、お客様が安心する『品質』と『信頼』を得られるようなプロセスを考え、施工管理業務へ活かせるようなインプットを行いたいと考えます。</p>
【アフターサービス】	<p>ホームドクターはオーナー様のご不満を解消する役割を果たしており、業務の多くの部分を占めます。お客様一人一人に寄り添い、ご不満の理由を的確に把握すること、そしてそれを解決する為に何をすべきかといった解決力が、ホームドクターには求められています。</p> <p>本講義では、更なる現場力向上のために、ホームドクターに求められる「信頼回復と品質を追求する」解決力について、事例を通じて学びます。</p>	<p>■お客様のご不満を解決して、最終的に信頼を回復した事例</p> <p>お客様からの苦情に対して、<u>自らが対応して、解決に導いた事例</u> (ソフト:住み心地や対応のご不満など)</p> <p>品質問題について自らが対応して、<u>解決に導いた事例</u> (ハード:施工不良や製品不良など)</p>

《昨年度受講者の評価》

生産部門	他の方の品質改善事例を聞くことができ、新しい視点を身につけることができた。“思い込み”と“人を原因と結論づけない”という点は目からウロコの思いでした。
邸別設計部門	どこのハウスメーカーも同じ悩みをかかえていることが分かるとともに、他社の対策や取り組みを学ぶことができ、大変勉強になりました。
施工部門	同業他社の実態について、情報交換ができてとてもよかった。DXへの取組について、事例研究を通して、よく理解できた。
AS部門	他ハウスメーカーでも同様の不具合で、様々な問題解決の手法を知ることができ参考になりました。手法は違っても取り組む姿勢はどの会社も一緒なんだと感じました。